

セキュリティプラットフォーム 追加機能・改良機能一覧表 (Version 3.6.5)

セキュリティプラットフォーム に追加された機能と、改善された機能についてご紹介いたします。



2016年9月

追加・改良点	製品名	詳細
OS対応	ベーシック evolution /SV ベーシック +AD evolution /SV 各オプション	Windows 10 Anniversary Update (ビルド 14393) に対応しました。
アプリケーション対応	ベーシック evolution /SV ベーシック +AD evolution /SV 各オプション	Microsoft Edge (38.14393.0.0) に対応しました。
アプリケーション対応	ベーシック evolution /SV ベーシック +AD evolution /SV 各オプション	Google Chrome 53安定版 (53.0.2785.101) に対応しました。
アプリケーション対応	ベーシック evolution /SV ベーシック +AD evolution /SV 各オプション	Office 365 Business の対応ブラウザにGoogle Chromeが追加されました。
機能改良	ベーシック evolution /SV ベーシック +AD evolution /SV 各オプション	【アプリケーション管理制限機能】 Microsoft Edgeの拡張機能を制御する設定ができるようになりました。
機能改良	ベーシック evolution /SV ベーシック +AD evolution /SV 各オプション	【言語選択対応】 新規インストール時に、SePが動作する言語を日本語と英語から選択できるようになりました。
機能改良	ベーシック evolution /SV ベーシック +AD evolution /SV ベーシック evolution /SV for TS/MF	【SV暗号ファイルを開くアプリケーション指定機能】 SV化対象アプリケーション以外のアプリケーションで、SV暗号ファイルを開く設定ができるようになりました。
機能改良	ディフェンスオプション	グランドメニューおよび警告パネルの配色を変更しました。

*セキュリティプラットフォームの著作権その他一切の知的財産権はハミングヘッドズ株式会社に帰属します。
 *ハミングヘッドズセキュリティプラットフォームは、ハミングヘッドズ社の登録商標です。
 *Windows は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標、及び商標です。
 *その他のブランド名や製品名もそれぞれの所有者の商標または登録商標です。
 *本製品の仕様については、事前の予告なしに変更することがあります。
 *本書の内容の一部・または全ての無断複製・転用・転載等は、特定の場合を除き、ハミングヘッドズ社の著作権の侵害になります。
 *このレポートは2016年9月現在のものです。